

## 会議録要点記録

1. 会議名	石垣市子ども・子育て会議（第5回）
2. 開催日時	平成26年10月29日（水） 16:00～18:00
3. 開催場所	石垣市民会館中ホール
4. 出席者	<委員> 石垣市子ども・子育て会議委員17名（4名欠席） <事務局> 児童家庭課長、教育委員会総務課長、学務課長、 学務課長補佐、学校指導課指導主事、他職員6名
5. 傍聴人	6名
6. 次第	1 開 会 2 議 題 （1）量の見込みと確保方策について ①1号認定の見込み量に対する確保の方策と実施時期について ②2号認定の見込み量に対する確保の方策と実施時期について ③3号認定の見込み量に対する確保の方策と実施時期について ④地域子ども・子育て支援事業の見込み量の確保の方策 （2）その他 3 閉 会
7. 配布資料	資料1 石垣市子ども・子育て支援事業計画（案） 参考1 「第4回石垣市子ども・子育て会議議事録」
8. 会議の内容	以下のとおり

事務局	<p>1. 開 会 (16:00)</p> <p>2. 議 題</p> <p>(1) 量の見込み量と確保方策について</p> <p>① 1号認定の見込み量に対する確保の方策と実施時期について</p>
事務局	<p>それでは、1号認定の見込み量に対する確保の方策と実施時期について説明いたします。12ページをお願いします。併せて見込み量確保の方策総括票、15ページもご覧ください。幼稚園といたしましては平成27年度、公立幼稚園18園は実地主体である市町村の確認を受け特定保育教育施設となり施設型給付を受け従来通りで行われます。平成28年度は3歳児の教育ニーズに対応するため地域の実情に応じて公立幼稚園9園を幼稚園型認定こども園へ移行し3歳児枠75名の拡充を図ります。9園のうち農村地区で6園、市街地で3園を計画しております。施設給付型保育施設の内、28年度では公立幼稚園が9園、幼稚園型認定こども園の幼稚園のなかで保育を必要とする子どもを受け入れる場合の単独型として3歳児から5歳児の教育枠の調整を図ります。また30年度には老朽化に伴う幼稚園舎の立て替え時期等に応じ、公立保育所1カ所と公立幼稚園を統合し幼保連携型認定こども園として整備します。そこで、公立幼稚園は8園、認定子ども園の単独型が9園、幼保連携型認定こども園が1園となります。31年度以降におきましては公立保育所1カ所と公立幼稚園2カ所、公立保育所2カ所と公立幼稚園1カ所を統合し幼保連携型認定こども園として整備します。ここで議題となるのが市街地における3歳児の教育機会の確保です。しかし1年保育のみやとり幼稚園、あらかわ幼稚園、へいしん幼稚園、おおかわ幼稚園の4園については2年保育を視野に入れ条件的に整備していきたいと思えます。また就学までの3年間の長期的な見通しを持った教育課程の推進を図るためにも人的配置や環境整備等、また学校教育である幼稚園教育の整備と室の向上を図ります。</p>
会 長	<p>それでは1号認定の見込み量に対する確保の方策と実施時期ということについてそれぞれご質問がありましたらよろしくをお願いします。</p>
委 員	<p>1号認定の3歳児が来た場合、市はどのような責任を持ちますか。ではこの子どもを2号認定にしますか。1号認定で幼稚園に入りたいと。だけど幼稚園はとってない。その時に石垣市はどのように責任をとりますか。</p>
会 長	<p>今の場合ですと認定制度ですから3歳児で1号認定を取るわけですね。その親が幼稚園に行ったときに受け入れてくれるのですかという問いですね。</p>

委 員	はい。それが今、来年度はどこもやらないというのであればその子どもは2号認定で認めてくれますか。石垣市はこの子どもに対してどのように責任をとりますか。
会 長	2号認定に変えられるかどうかということですから。1号認定を受けました、ところが1号認定では3歳児の教育機関は幼稚園では受け入れません。では2号認定に変更してくれますかということですね。 幼稚園ですと3歳児から誰でも自由に利用できるということですね、国の法律では。 その前提で今話しをしているということで、石垣市はそれに対して何の保障もなされてないということですね。
事務局	私たちの計画としては28年度の計画で、27年度に条件整備、人員整備を考えていきたいと思っております。
委 員	28年度から始まるわけでしょ。1カ所でも開いておかないと石垣市はどう責任とりますか。この1年間子どもはどこへ行きますか。幼稚園型はない。だけど1号認定だと。そのこどもの保障を石垣市がどうしますか。その子どもは認定しないのですか。
事務局	しないといっているのではなくてこの27年度から5カ年計画が始まります。委員がおっしゃるように、我々は3歳児から5歳児をということでやってはいますが、実際にキャパシティを考え、石垣市の幼稚園がやるとなると厳しい状況です。27年度からすぐにできるかといったときにはっきり言うてできません。だから、3歳児がきたら27年度は出来ませんが28年度からやろうという話しですね。今、どう責任とるかと言っておられますが、そういうことではなくて、国はやりなさいと言っていますが出来る市町村とできない市町村があります。石垣市は3歳児が今までいまして、そこを市としては施設整備をやらないといけない。しかし27年度無理ですが28年度からできるようにしますと、そういう内容です。
委 員	1園でも市内で幼稚園を開いてもらえないかなと。
会 長	例えば、27年度を見ていると分かるんですけども4歳児が203名、5歳児が752名、この1号認定の子がこれだけ増える理由はなんですか？
事務局	幼稚園18園の4歳児・5歳児を受け入れる定員枠の合計です。
会 長	752名の子どもは全員1号認定ですか。認定変更がないということですよ

	<p>ね。</p>
事務局	<p>27年度におかれましては幼稚園型認定こども園とか幼保連携型認定こども園に移行しないのでその合計数になると思います。</p>
会長	<p>752を確保できているわけですね。そうすると今言った対応部分でできないということはありません。5歳児を全部とったとしても750名の確保ができていますから、100名ほど余裕がある。その余裕に対して3歳児をできないのかという問いになりますね。</p>
事務局	<p>先ほど27年度の3歳児の枠ということでございますけども、先ほどの説明がありますように幼稚園の規模、あるいは適正保育の面からしますとどうしても改装、改修等が必要になってきます。3歳児の施設、クーラー、カーテン、その他諸々が必要になってくるかと思っておりますので、27年度は先ほどの説明で申し上げましたけども、人力的整備あるいは改修なども含めて、28年度で3歳児を受け入れていきたいということで考えております。</p>
委員	<p>法人の保育園は、待機児童を減らそうと努力しています。幼稚園の方の努力が一切見えないです。児童家庭課は一生懸命声かけて認可外の保育園を小規模保育させようと、そして認可にさせようと動いているのは見えます。では、教育委員会のなかの幼稚園は何を考えていますか。努力が見えません。だから1園でも市街で3歳児をみてください。公的責任をとれるようにやってもらいたいと思います。これだけの認可外の保育園が石垣市のために頑張っている。小規模保育園なり、認可を受けようと頑張っていますよ。公的機関である幼稚園が何も動いていないというのは絶対におかしいと思います。</p>
会長	<p>全部ではなくて、18園ある特に市街の幼稚園の1園でも2園でも。いろんな設備の問題があると思いますがここだけではできるとい形にならないですか。</p>
事務局	<p>市街の6、7園は、詳しく調査してみないと分からないところもありますが、そのあたりにも可能性があるのか調査してみようと思います。ただ、どうしても保育の3歳児を受け入れるとなると設備が必要になると思います。そのあたりも含め、先ほど申し上げたようにどうしても施設面、人員面も配慮しなければいけませんので、委員会としては28年度から計画しています。</p>
委員	<p>認可外保育園は法人を立ち上げようと努力しています。自分のお金を使い、補助を受け、何千万とお金を出さないといけないわけです。それだけの努力をしています。公立幼稚園は何も動いていないとしか見えません。だから、1カ</p>

事務局	<p>所でもやってもらいたいと思います。</p> <p>今のご意見ですが、もう一度詳しく精査してみまして検討していきたいと思っ ます。</p>
会 長	<p>教育委員会に聞きたいのですが、認定が2号認定の子どもがいます。その子 は幼稚園に入れますか、入れませんかという質問です。2つ目は2号認定の子 どもを1号認定に変更ができますかという2点です。</p>
事務局	<p>2号認定の子どもの幼稚園の場合は、幼稚園型認定子ども園の単独型で保育 を必要とするということで2号認定として認められるかなと思います。</p>
会 長	<p>認定子ども園以外はダメですね。例えば、幼稚園の施設型であれば2号認定 の子どもは入れませんね。</p>
事務局	<p>それは特定教育保育施設ですよ。幼稚園はそのまま給付をもらって特定教 育保育施設になります。そこはそのままの従来の幼稚園でいきます。</p> <p>施設型給付をもらったからといってすべてが認定子ども園になるとは限ら ないと思います。ですから施設型給付をもらって、幼稚園は特定教育・保育施 設にはなります。そして、28年度以降におおはま幼稚園、みやまえ幼稚園等 が幼稚園型認定子ども園の単独型としてそこに保育を必要とする2号認定の 子どもがそのまま3歳から5歳の保育をしていると思います。</p> <p>親が業務を就労して幼稚園の1号認定の教育標準時間を希望します。その あと一時預かりを希望する。就労しているので本来ならば2号認定かなと客観 的に思われるかもしれませんが、そこは親が選びますので1号認定で幼稚園 教育を受け、そのあと一時預かりを幼稚園型の預かりとして希望すると思っ ます。</p>
会 長	<p>その時の親の一時預かりの理由は何になりますか。</p>
事務局	<p>それは就労です。両親が就労していることが必要になります。一時預かり事 業の幼稚園型ですので、その園に在園している子どもが利用する預かり保育 です。就労要件は必須だと思っております。</p>
会 長	<p>本来なら幼稚園というのは4、5時間の教育ですね。それ以外は認定子ども 園になり保育型をとりなさいというふうに言われているのが認定子ども園の 移行の案件です。それが、一時預かりができるのならば認定子ども園は必要な くなくなるはずで</p>

事務局	<p>国からのQ&amp;Aのほうでは、幼稚園の預かり保育に関しては一時預かり事業の幼稚園型として継続してできますというふうにあります。確かに会長がおっしゃるようにこれまでの一時預かりと概念が変わっていると思いますが、今回の幼稚園の預かり保育に関してはそれで継続できるとなっています。ただ、客観的にみるとやはり2号認定かなというのはあると思います。市としては認定子ども園にならない移行しない幼稚園に関しては預かり保育。28年度から認定子ども園に移行というふうに考えております。</p>
会 長	<p>わかりました、そのあたりまた勉強してみます。 その時、預かり保育をしてほしいという5歳児の子どもを全員確保してもらえますか。預かり保育を希望した親全員を預かり保育で抱え込んでくれますか。定員をなくし、幼稚園が預かり保育をやってくれるかどうか。</p>
委 員	<p>以前に公立幼稚園、公立保育所と認可保育園を共存しなければいけないと言いました。今、会長が言うように、預かり保育を幼稚園が全員とるとなると、民間のほうの人数が減っていくことにはなりませんか。共存ということを見ると、幼稚園の預かり保育の定員はこれだけですということですか。</p>
会 長	<p>今言った部分は、もう幼稚園に入っている子ども達です。入っている子どもで親が就労しているその子ども達を保障するために親が預かり保育でやりたいですという全員保障してくれますねということですか。なぜ、これだけしかできないのですか。</p>
委 員	<p>それは今言うようにキャパ的に無理なものがあります。人数が多くなるとみれません。質の高い保育ということになるかと思いますが、いろんな意味で人数が多ければ難しいということはどこでも幼稚園でも同じような問題を抱えていると思います。</p>
会 長	<p>枠組みなどをキチンとして昼間もやるべきです。その子や働いている親達を抱え込むわけです。昔は5歳児の学童保育をやっていましたね。それが問題になった。それと同じことです。5歳児で働いている親達の子どもは誰がどうやって保障するのですか。幼稚園が抱え込んだときにある親の子どもは預かり保育で保障される、ある親の子どもは預かり保育に入れないで放置される。誰もが使える仕組みに作るべきでしょう。それを今言った定員がどうかキャパがどうか言わないことですよ。</p>
事務局	<p>今回20名定員を5名増やしまして25名になっております。これに関しても人的要因など諸々がありまして25名という枠で来年度は考えていきたいと思っております。今回、放課後児童クラブが補助金を受けて運営する時には幼稚園生</p>

	<p>が預かれないところは十分承知はしております。それなりにこちらも頑張って5名を増やすということです。</p>
<p>会 長</p>	<p>例えば、へいしん幼稚園は90名いますね。あそこは何名預かりますか。</p>
<p>事務局</p>	<p>25名です。ただし、お母様方も毎日幼稚園はお弁当です。そして週休日もあり、幼稚園は3月19日の修了式の前日で終わります。預かり保育はこういう条件で、お母さん達の選択肢として、そのへんも考慮してほしいと思っております。</p>
<p>会 長</p>	<p>親の選択と言うのであれば、定数、枠を決めるのではなくて受け入れてほしいという親は、皆受け入れるのがスジじゃないですかということです。そして親が預かりは使いませんというのが選択だと思います。</p>
<p>委 員</p>	<p>私も会長が言う通りだと思います。教室に入らないから、あなたは帰ってくださいというのは子どもの立場で考えたとき私は絶対反対です。最初から受け入れるという形でやってほしいなと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>石垣市の幼稚園は、先生方もご存じのとおり主幹教諭、教頭、副園長がいません。担任のみの園経営です。園長先生は小学校の校長先生です。プラス1の先生の配置があればというのも考えております。それで園の先生方には幼稚園教諭の指導の下に預かり保育をやってもらっておりますので、その点の先生方の負担過重の面もあります。それと併せて人的配置も考えていかなければすぐにこの人数を全員受け入れるというのがここでは答えられないところです。</p>
<p>委 員</p>	<p>認可保育園も一緒です。職員を増やさなければ預かれません。それを皆努力しようとしている。借金をしてお金を作り、そうしてどこの法人も頑張ろうとしています。石垣市の幼稚園はどうですか。動いているのが何1つ見えません。27年度から変わろうとしています。今まで何をしていたのか。人的なものは我々も一緒です。</p>
<p>事務局</p>	<p>27年度からと先ほど何度も申し上げましたが、今の段階ですぐに動くということは申し上げられないですが、いろんな面から検討して今何ができるのか、建物を造るにしてもやはり予算が伴いますので、どこからの予算なのかということも含めて検討する必要があると思います。</p> <p>もちろん、28年度に備えては9園については整備も少々かかるとは思いますが、それは当然予定しております。人的配備もしながら保育の質も高めようと考えていますので、只今いろいろ説明したなかで27年度においてすぐに3歳児の保育を始めるというのは少し厳しいところがあるということで28年度</p>

会 長	<p>からにはしていますが、委員からのご指摘がありますので総合的に勘案して検討してみます。</p> <p>それでは1号認定の見込量に対する確保の方策と実施時期についてはこのあたりでよろしいですか。</p> <p>それでは続きまして事務局の方で2号認定の方策についてよろしくお願ひします。</p>
事務局	<p><b>【②2号認定の見込み量に対する確保の方策と実施時期について説明】</b></p>
会 長	<p>31年以降に幼保連携型にしますと、民間委託はすごく難しいというのは分かっているよな。言い方を変えると、公私連携幼保連帯型といいますけど、もし検討するなら幼稚園だけで認定こども園をとったほうが早いのではと思います。</p>
事務局	<p>今後も公立保育所のあり方検討委員会等で公立保育所のあり方も含めて考えながらこの幼保連携、公立幼稚園の組み合わせも有るのかどうか含めて考えていきたいと思ひます。</p>
会 長	<p>5歳児の問題ですけど、31年度で219名が認可保育園に残ると言われています。今は、認可保育園に5歳児が残らないで幼稚園の方に移行している現実があります。それに対して児童家庭課のほうとしては何らかの対策というか検討というのはありますか。</p>
事務局	<p>認可保育所の方が5歳児の定員枠を増員するというふうに進めていった場合、公立幼稚園、公立保育所を含めて5歳児の枠というのも調整していきたいというふうにお願ひしております。</p>
会 長	<p>何かありますでしょうか、よろしいですか。では、次は3号認定の説明をお願いします。</p>
事務局	<p><b>【③3号認定の見込み量に対する確保の方策と実施時期について説明】</b></p>
会 長	<p>何かご質問はありますか。</p> <p>保育所の認可外から認可化への移行というものをよくやってくれたなと思っています。ただ圧倒的にスピード感ありすぎなんですね。1年に3カ所増える。今は保育士が足りない、仮に3カ所できると1園で15人としたら45人の保育士を確保しなければならないということになります。そこに関しては十分な形で児童家庭課としては努力していただけるものだと思っています。</p>



事務局	<p>私ども改修に向けては各認可保育園にご協力いただきながら増改築、定員枠の拡大、協力いただいています。今年度、保育士の確保を十分に確保しなければハード面は拡充してもソフト面は人材がないということでは大変ですので今年度の予算において県の基金を活用しながら保育士確保に向けての対応に取り組んでいこうと考えています。実は来月に私立保育連盟さんとも協力いただきながら、沖縄本島の養成校、本土も含めて地元出身の保育士を島に呼び戻してやっていただこうという考え方がございます。今、来年度に25名ほどの予算を渡航費として補助していこうと予算組をしていますのでこのへんを改めて私立保育園さんとも協力しながら保育士確保に向けて連携していきたいと考えております。</p>
委員	<p>まず地元の高校から保育士に上げるような動きをもっていけるように。高校にも行って保育園で職員が足りないからということで保育士の学校に進めるような形をとってほしいなと思っています。それと奨学金が出せないのかなと。</p>
事務局	<p>実は教育委員会に奨学金制度とありますが、短大、大学ということでやっていますが、この島に帰ってきて、こういう形で何年か働いたら奨学金が無料になるとか半額になるとか方法は色々あると思いますが、これは是非貴重な提言として参考にさせていただきます。ありがとうございます。</p>
委員	<p>学校教育の方から少しお話をさせてください。今の意見、大変すばらしいと思います。自分の将来の希望を見据えて進んでいくということでいい傾向だと思います。奨学金に関して、部長もご存じだと思いますが二つ併願で取れないというのがございますよね。そして一番とるのは一番高い、今は日本育英会ですかね、そこが一番高いと思います。それを取るためにはこの奨学金をとるとそれは取れなくなります。ですから奨学金を作る場合には、今ある奨学金より高い奨学金でないと今言ったような進歩はないと思います。</p>
事務局	<p>それも含めて関係課とも連携して、委員がおっしゃったものは大変すばらしいアイデアですので、参考にさせていただきます。</p>
会長	<p>お聞きしたいのですが3号認定ですね。見込量というのは、親がこれだけ人数を希望していますよということですね。そして、必要量というのはこれだけ確保しましたということになります。そうすると、例えば31年に2歳児の323名の親が保育所に入れたい。ところが、実際には423名の確保方策として100名ほど余裕ができますね。定員割れの心配はありませんか。</p>
事務局	<p>先ほどから話しているように、この定員枠に関しては、定員が足りていると</p>

	<p>いうことであれば、定員調整を担ってくるのは公立保育所になってくるかと思 います。</p>
会 長	<p>公立保育所は調整を担ってくれるということでよろしいですか。市のほうとし ては保育園に入る子ども達の人数に関して精一杯努力してくれていると思っ ています。その件に関してご意見はありますか。</p>
委 員	<p>やっぱり心配なのは保育士の確保です。以前も提案したと思いますが、石垣 市でこの講座が開けないでしょうか。旅費、時間、休むと給料はないというこ とで、保育士や保育従事者も悩んでいる。沖縄本島などから講師を招いて、講 師料を出してもいいと思います。自分の資格ですからね。講座を開いてほしい です。そして単位が取れたときはまた国家試験を受ける形に持って行ってくれ たら皆さん大変嬉しいと思います。</p>
会 長	<p>その件に関しての意見は、今後に反映させていただければと思います。 続いて、地域子ども・子育て支援事業の見込み量の確保の方策についてお願いし ます。</p>
事務局	<p><b>【④地域子ども・子育て支援事業の見込み量の確保の方策について説明】</b></p>
会 長	<p>ただいまの説明で何か質問ありますでしょうか。</p>
委 員	<p>28Pの乳幼児家庭全戸訪問事業についてですが、次世代育成支援法のなか でも継続と併せて、5年ほど養育支援家庭訪問事業の人数が40名ぐらいいる だろうと言われていましたが、実績がないということで計画の中から外されて いました。今回50名というのをみて、私たちも保健所で調べた時に、支援が 必要な方は50名はいる、さらに増えてくるだろうという予測は持っているん ですけど、そのへんについて、50名の根拠とやっぱり評価をしていないから そのまま入れているのかなと気になったのでそのへんを聞けたらいいなと思 います。</p>
事務局	<p>今、ご指摘のとおり事業については省いたというところがありまして、今後 どの程度どんなふう伸びるかということが予測できていないというところ から、ある程度の50人というのを平成31年度まで入れているということで ございます。しかし、これは対象者が増えていく一方でそれに対応しないとい うことではなくて、平均的に50人いっしょならばすべて対応していくと いう考え方が含まれておりますのでご理解いただきたいと思っております。</p>
委 員	<p>50名をするといったときに、誰がこの訪問支援をするかということで専門相</p>

委員	<p>談という形では、保健師や助産師、保育士とかありますが、それ以外の支援員というところで研修をしてというところがあります。そういった確保のところもありましたので、その件は整理しないということになるとおかしな話なのかなと気になったのでよろしくお願いします。</p>
事務局	<p>放課後児童健全育成事業の放課後児童クラブ、小学校区1カ所とありますが各小学校区と認識してよろしいでしょうか。</p>
委員	<p>各小学校区です。</p>
事務局	<p>それで公設民営方式とありますが、具体的にどこにどういった場所的な案があるのでしょうか。</p>
委員	<p>理想的には小学校敷地内というのが理想でございますが、ある程度は小学校の増改築の部分になるのか敷地に余裕があるのか検証もしなければいけないというふうに思っております。先ほど公設民営ということで、民間で建て運営するのは非常に厳しいという状況もありますので、公によって整備をして民によって運営をしていただく、また共同運営をするという方法がありますので、それは地域の実情に応じて運営の主体を任せていきたいというふうに考えております。</p>
委員	<p>園長会の九州会で小学校内に放課後児童クラブという話がありました。ただ、多くの園長の話を知るとやっぱり、公立の中に民営化が入ってきてその後の責任はどうなるのかと。いろんな意味で改善しなければいけないものが出てきていると思います。そこも勘案しながら是非ご検討をよろしくお願いします。</p>
委員	<p>お聞きしたいと思いますが、学校内に学童保育を置くということでだいぶ皆さん困っています。学校側もそうですし、利用者も困っています。特に石垣市の場合は、スポーツ関係が運動場を全部使うわけですね。それから体育館も使います。そして、教育委員会に聞きたいですが放課後児童クラブではなくて、勉強会をしていますよね。それは、指導員と学校長、先生方、それから子ども達同士で場所取りが大変で後退的です。公設民営は、とてもいい形ですが民営となると色々方式があるみたいですね。やっぱり、行政が場所を作り行政と指導員、そしてそれに関わる人たちが運営をしていくということが一番ベターだと意見が多いです。今後、子どもたちのためにどんな過ごし方が一番放課後の生活にベターかということを考えていけたらと思います。</p>
委員	<p>一時預かりにいてお聞きしたいのですが、日数と人数76800とでいま</p>

	<p>すが、これは計算式としてはどういう計算で出てきましたか。</p>
事務局	<p>1カ所25人です。25×16×240日ということで勘案して述べ76800人ということで出しています。</p>
委員	<p>そうすると、25人定員枠をこのままでいくと5年間続けるということですね。</p>
会長	<p>25人というと、例えばへいしん幼稚園の90人の子どもがいて、そのうちの25人しか預かれない。これは、先ほどいった25人というところで少ないと思っているものですからその部分でキチンと数字をだしてくださいということです。他に何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>病児保育事業ですが、27年度の見込数が2400となっていますが、現在ていんくるやいまで行っているファミサポでは、病後児保育のみ行っています。ファミリーサポーターを要請する時のカリキュラム24時間の中に、石垣市にいる成長発達の家庭というのは学習しますが、病児の取り扱い方とか、現在の少子化の時代で、ひとりひとりの子どもの命がとても大切にされる時代に病児保育をこんなふうに簡単にあげてしまっているのかなと思いました。それと、確保の方法として県立八重山病院の医療機関と調整してとありますが、可能なのかすごい疑問です。病院でも定数制というのがありますので、今はいつでも仕事をする人が足りない状況にありますのでこんなに簡単にあげてしまっただけの方策としていかなものかと思いますがそのへんを教えてくださいませんか。</p>
事務局	<p>この病児、病後の計画ですが、県立八重山病院を確保方策にあげており、移設の際に検討できないかということで、入れてあります。これとあわせて、個人経営をなさっている病院等に医師会等を通じて事業所で実施できる場所がないか、検討・調整していきたいと考えております。</p>
会長	<p>そういうふうにやっていただければと思っています。よろしく願いいたします。他に何かありますでしょうか。</p>
委員	<p>議題のなかで保育園・保育所等の経営者あるいは関係者、保育士の方々のご意見本当に深く掘り下げてしっかりとやっていただいていることを関心しながら聞いておりました。我々の会議の基本的な部分は、子ども達がしっかりとした保育といたしましうか、子育ての大事さをやっていくための基本を作り上げていこうということだと思っております。この会議がもっと充実させていかなければならないと思っております。</p> <p>来年の3月でこの会議は、一応形を整えるわけですがその際に、フォーラム</p>

事務局	<p>という形をお持ちになればと思います。どうお考えでしょうか。</p> <p>大変貴重なご提言ありがとうございます。実は、私どもはそのような考えを持っておりまして、この事業計画ができた暁には、新制度にむけて3月までに保護者も含めて市民向けにフォーラムなり講演会を開いて、新制度でどのように変わっていくのか、また市、行政の取組姿勢を今回委員の皆様にご覧いただき、計画を理解していただく機会を作りたいと考えております。ありがとうございます。</p>
会長	<p>それでは他にご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>先ほどの病児・病後児のほうですが、保健所のほうでも人工呼吸器を設置したお子さん等のレスパイトの入院を八重山病院が受け入れないのかという相談をしに行きました。レスパイトとは、この人たちは保育も預かる場所がない、24時間365日、家族や兄弟が介護しなければいけない。学校の集まりにもいけないいろんな締りがあるなかでそういった保護者が休める場所があったらいいなということで病院のほうに相談に行きました。すると、やはり看護師も不足している状況ということと、ずっと医療が必要ということではないのでそこに保育ができる人が配置できる体制があれば、何かできる方法があるのかなというのがあったので、病院と調整する時に声をかけていただければありがたいなということです。よろしくお願いします。</p>
会長	<p>今日は、教育委員会に3歳児の受け入れが市内のほうで1カ所できるかどうか、そして一時預かりについて数をキチンとどう対応するかというのを次回出してほしいという要望がありました。次回はいつになりますでしょうか。</p>
事務局	<p>次回の第6回子ども子育て会議ですが、11月27日の木曜日午後4時から予定しております。場所のほうも今日と同じこちら中ホールとなっております。</p>
会長	<p>それでは第5回子ども子育て会議を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。</p>